

応用マテリアル工学 (MA3e20L1)

担当教員：学科長

対象：第3学年

単位数：2.0

バイオ

環境・基盤

ナノ・機能

限定

限定

限定

実施時期：A1A2 セメスター 水曜日 4時限

場所：41号講義室

講義目的

近年のマテリアル技術は日進月歩の発展を遂げつつある。この講義では、マテリアルの工業技術的側面を基礎的に理解させることを目的に、企業や国の他の機関等から、多分野における第一級の方々を講師としてお迎えしている。

講義項目：(2023年度の例)

- ・(株)UACJ：持続可能な社会発展に貢献するアルミニウム材料の現状と今後
- ・(株)アントンパール・ジャパン/東京理科大学：身近なレオロジー
- ・(株)プロテリアル：モノづくり技術の新しい挑戦
- ・産業技術研究センター：企業における研究開発とマネジメント - My Personal Experience -
- ・(株)メニコン：ナノスケールの構造が操る透過機構 ～「偶然」を「必然」へ導くアカデミックリサーチへのチャレンジ
- ・富士通(株)：量子コンピューティング 実用化に向けた取り組み
- ・Rapidus(株)：最先端半導体国内生産再開に向けた取組と展望
- ・JFE スチール(株)：技術革新で世界をリードし続ける鉄鋼技術
- ・(株)ミライズ テクノロジーズ：パワーデバイスの進化とモビリティ革新
- ・三井金属工業(株)：亜鉛とその製錬方法
- ・神戸製鋼所：技術のかけ算による価値創出
- ・(一財)化学物質評価研究機構：生分解性高分子材料の社会実装に向けて～評価機関としての取組～

理解すべき事項

マテリアルの工業技術的側面及び研究開発の動向

関連する講義

事前履修：マテリアル工学科講義全般

並行履修：マテリアル工学科講義全般

事後履修：マテリアル工学科講義全般

参考書(テキスト)：特になし

参考書(演習書)：特になし

講義ノートリンク先：適宜資料配付

成績評価：出席、レポート

備考